



撮影地  
東伊豆・  
八幡野沿岸

## トドメは痺れ液

伊豆の海には、南の海で見られるホラガイにそっくりな巻き貝のボウシユウボラが生息する。彼らは貝殻をふせて岩の間などでじっとしているのです、石ころのように見えてつい見逃してしまふ。

ところがある日、ボウシユウボラがアカヒトデを襲う意外な光景に出会った。

### 伊豆の海から

めったに殻の内側の軟体部を見せない彼らが、黒帯のに入った左右の触角を勢いよく伸ばして、ヒトデの腕を押しさえようとしている。逆にヒトデは、身をよじって離れようとす

る。だが次の瞬間、貝は2本の触角の間から伸縮自在の口を伸ばし、がっちりヒトデを押しさえ込んでしま

った。口からヒトデを痺れさせ液が注入されたのだらう。ヒトデはぐったりとなり、みるみるうちに貝の殻にのみこまれていく。

獲物を捕らえるときの貝が、こんなにエネルギーシユに行動できるとは、想像もできなかった。

サンゴを食い荒らすオニヒトデ。そのオニヒトデを食うホラガイ。巻き貝の間はヒトデやウニが好物で、こうして自然のバランスが保たれているようだ。

(水中写真家・伊藤勝敏)